

昭和33年
唄／松山 恵子

だから言ったじゃないの

松井由利夫 作詞
島田 逸 平 作曲

Andantino

あんだ ないてんのネ だから いったじゃないの
み なた の さ か ば へ
の み に く る
おとこなんかの いうことを バカネ ほんきに
一 ほんきに するな一 て 一

まったく ーあんだーは うぶなのー ネー
つみな ー やつだよ ー かもめどー り ー

1 あんた泣いてんのネ
だから言ったじゃないの
港の酒場へ 飲みにくる
男なんかの 言うことを バカネ
ほんきにほんきに するなんて
まったくあんたは うぶなのね
罪なやつだよ 鷗鳥

2 あんた泣いてんのネ
だから言ったじゃないの
男の言葉に だまされて
さんざわたしも泣かされた バカネ
今さら今さら ぐちなんか
言ってもむだだわ やめましょね
港女は 強いはず

3 あんた泣いてんのネ
だから言ったじゃないの
めそめそしないで 捨てちゃいな
なにさ港の恋なんか バカネ
何時まで何時まで 泣いてんの
どんなにこがれて 待ったとて
帰るもんかよ あの男

